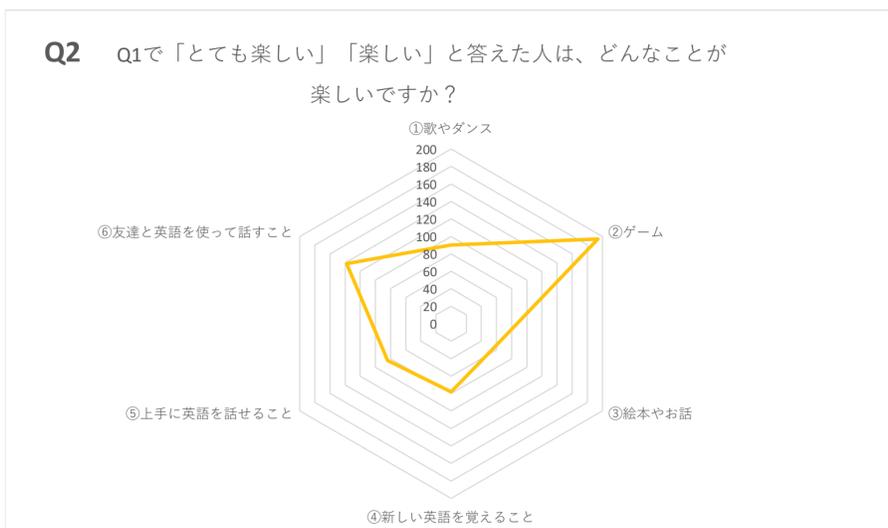


Q1集計について

約97%の児童が外国語の授業は楽しいと答えている。どの学年も楽しいと答えている児童の割合が多く、宇城市の英語教育の成果が出ていると考えられる。

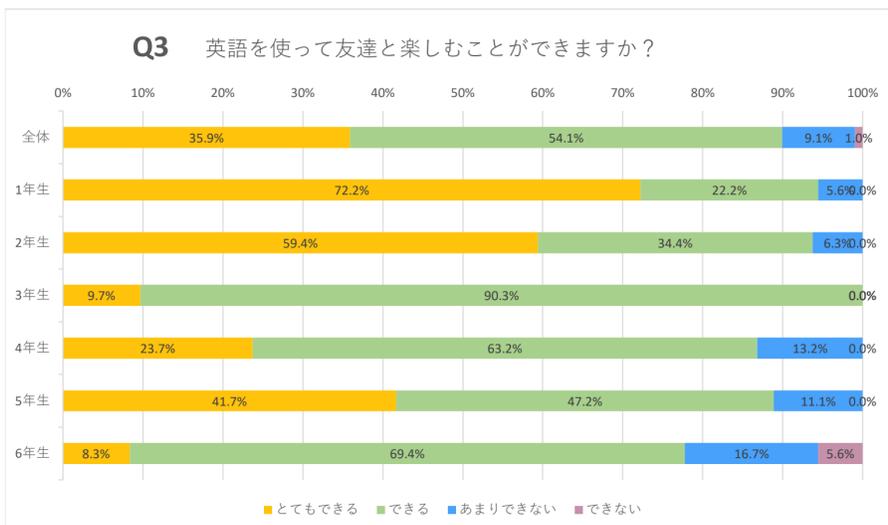
高学年では、話す・聞く活動に加えて、読んだり、書いたりする活動が出てくる。ここで苦手意識を持つ児童がいるので、読んだり、書いたりする活動を工夫し、楽しく取り組めるようにしていきたい。



Q2集計について

外国語の授業の中では、「ゲーム」や「友達と英語を使って話すこと」を楽しいと感じている児童が多い。

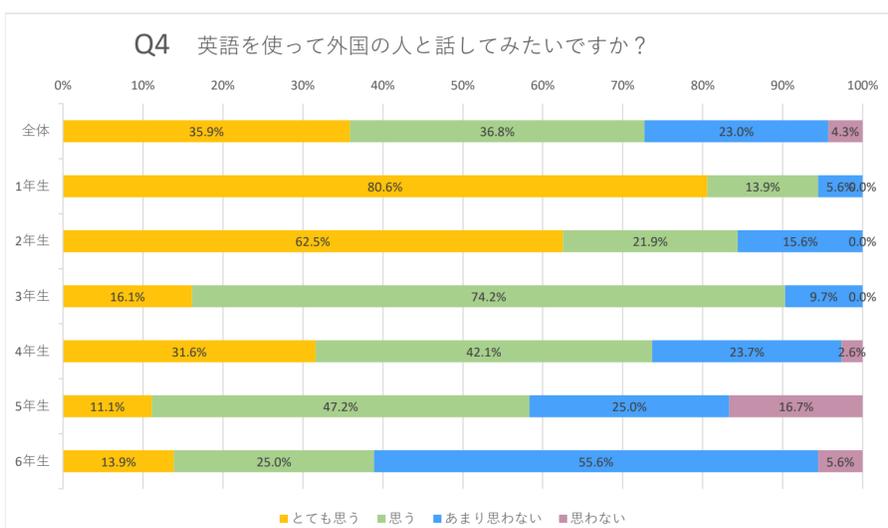
ゲーム的な要素を活かしながら、「歌やダンス」「絵本」等も活用して、より楽しみながら外国語に親しんでいけるように工夫していく。



Q3集計について

約90%の児童が英語を使ってコミュニケーションを楽しむことができている。コミュニケーション能力の素地となる資質・能力を育成することを目標としている小学校外国語の趣旨を達成しているといえる。

全体の10%程は英語でのコミュニケーションに苦手意識（高学年になると増加傾向）を持っているので、日常的にクラスルームイングリッシュの使用を習慣づけるなどして、苦手意識を払拭していきたい。



Q4集計について

約72%の児童は外国の人と話してみたいと思っているが、そう思わない児童も3割近くいる。

授業以外でもALT等の外国人と接する機会を持つことや外国の文化の紹介を行うこと等をおして、英語を使って話すことへの意欲を高めていきたい。

○保護者・学校関係者より

- ・今後も英語の授業の参観があれば、ありがたいです。
- ・子供が外国語（英語）の授業を楽しみにしているようです。
- ・早い時期（1年生）から英語を学ぶことができるのは良いことだと思う。